

第 20 回全日本マスターズホッケー大会 大会運営規程

1. 大会運営
 - ・本大会の運営は 2022 年度版公益社団法人日本ホッケー協会競技運営規程、6 人制競技規則及び第 20 回全日本マスターズホッケー大会実施要項により行うが、下記に示す事項は、本規程を優先するものとする。
 - ・競技運営規程に 11 人と表記のあるものは 6 人と読み替えるなど、必要に応じて 6 人制に合わせて読み替えるものとする。
2. チーム代表者会議
 - ・試合に用いる用具の確認は試合開始前に行うため、代表者会議の際、持参する必要はない。(ユニフォーム 2 セットは持参すること)
 - ・JHA 登録証は、チームが出力可能な一覧表で提出するものとする。ただし、個人登録の場合は各個人の登録証を提出すること。
 - ・行動規範書は、代表者会議までに大会事務局へ PDF にて送付するものとする。ただし、対応が難しいチームは代表者会議の際に紙での提出も可とする。
3. スターティングリスト
 - ・チームは大会参加申込書に登録された最大 15 名までのプレイヤーを試合に出場させることができる。
 - ・スターティングリストの提出は不要とする。試合開始前にチーム代表者は、当該試合の T0 に対して、出場選手、先発選手、キャプテン、GK 及び手当者を報告するものとする。
 - ・監督、コーチは、参加申込書に記載のある者のみとする。
6. チームの服装、装具、カラー
 - ・対戦するチーム同士で、試合開始前にユニフォームのカラーについて協議すること。その際、同系色は避けるように協議すること。(代表者会議時に協議することを推奨)
 - ・対戦チーム同士で協議、決定したとしても、競技役員から変更を指示される場合があるので、ユニフォームは必ず 2 着を会場に持参すること。
 - ・リングパスは、それぞれの日の当該チームにとって第 1 試合目のみ実施する。
4. 試合時間
 - ・試合時間は前後半 12 分間ずつとし、ハーフタイムは 3 分間とする。チームの準備ができていなくても 3 分経過と同時に試合を再開する。
 - ・ペナルティコーナーの判定が下されても試合時間は停止しない。
 - ・ペナルティコーナークロックの適用はないが、速やかに準備を行うこと。
 - ・試合が引き分けで終了した場合は、予選リーグの場合は引き分けとし、決勝トーナメントの場合は、シュートアウト戦(両チーム 3 名ずつ)を行い勝者を決定する。
5. 抗議
 - ・本大会において抗議制度はない。
6. アンチ・ドーピング
 - ・本大会においてドーピング検査は実施しない。
7. その他
 - ・本大会にサジェスチョンアンパイア及びビデオアンパイア制度は適用しない。(チャレンジ制度はない。)
 - ・予選リーグの結果、順位決定の方法としてシュートアウト戦を実施する必要がある場合は、野外運動広場(隣接のグラウンド)において実施する。
 - ・決勝トーナメントにおいてシュートアウト戦を実施する必要がある場合は、当該コートにおいて実施する。